

『海辺の生き物観察会 in 大角海浜公園』

実施日時：平成 26 年 7 月 26 日（土） 13:30～15:30

※当日は、快晴となり気温が上昇したことから、参加者の体調を考慮し、1 時間繰り上げて 15:30 に終了。

場 所：大角海浜公園（愛媛県今治市波方）

参 加 者：16 名 （募集定員 20 名）

天 候：晴れ

内 容：大角海浜公園にて初夏の海辺の生き物観察会を行いました。潮が引いた磯には、潮位の違いで生息する生物が違ふことや、タイドプールの中にいる生き物などについて講師から説明を受けながら、観察をおこないました。

【実施風景】



磯の観察会開始

オリエンテーションを行った後、山本先生について行き、磯に行きました。



始めに、磯観察の諸注意を行いました。潮が引き始めてまだ時間がたっていないので、海水で滑る場所があるので注意。

海には近づかないで下さい。



磯の生き物観察

アラレタマキビについて

海水の当たらないような場所にいる貝で、海水に入れたら最後どうなっているか実験をしました。

みんなでたくさん取りました。

1つの水槽に入れて、観察会の後のお楽しみです。



岩の間に挟まっている生き物を見つけました。知っている人?と聞くと、

「カメノテ」と元気よく答えてくれました。



「ミミズハゼ」が見つかりました。
捕まえようとしたり、自分で見つけようと探し始めました。

タイドプールで生き物探しです。

生き物を探すときは石をゆっくりと動かして、砂が巻き上がらないようにするといいよと先生に教わりました。

石の下には・・・。





「ウニ」がいました。
水槽に入れると下から触手を出して動き始めました。

岩の高さによって見られる生き物が違います。上にはさっき見つけた「アラレタマキビ」がいました。下にはどんな生き物がいるか探しました。



わかめの標本の作り方を教わりました。
厚紙に挟むといいそうです。
わかめを拾って水槽に入れる子もいました。

岩にはもずくもくっついていきます。



小さなオレンジ色と赤色のふわふわしたものを発見しました。
これは、「カイメン」という生き物なんです。





岩の下をのぞくと「イボニシ」が大量に集まっていた。なにをしているかというと、産卵をしていました。

黄色の塊が、イボニシの卵です。



観察会中に産卵が見られるのはラッキーでした。



磯での観察を終えて、最初に捕まえた「アラレタマキビ」を見てみました。

アラレタマキビは水が苦手なようで、水につからないように上に逃げていました。

海に住んでいるのに水が苦手な生き物だということを知りました。



みんなで捕まえたカニや貝を種類別に分けてみました。



貝

スガイ・イシダタミ・イボニシ・マツバガイなど
が見ることが出来ました。



カニ

ヒライソガニが一番多く見られました。
ほかにもベンケイガニの仲間やヤドカリを
見ることが出来ました。



スジエビモドキ

大きいものから小さいものまで取ってきてくれました。
このスジエビモドキは卵を抱えています。

観察会当日は快晴となり、観察会日和でしたが気温が上昇し参加者の体調を考え 1 時間早く終了しました。